

アフリカにおける紛争後の課題

－共同研究会中間成果報告－

武内 進一 編

2007年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構

アジア経済研究所

まえがき

本書は、アジア経済研究所において2006年度に実施された共同研究会「アフリカにおける紛争後の課題」の成果をまとめたものである。同研究会は2007年度も引き続き実施される2年間の研究プロジェクトであり、本書にはその中間成果を取りまとめた。最終成果は、2008年度中に研究書として出版される予定である。

中間報告書としての性格上、本書には研究ノートや資料的性格をもった論考が混在している。序章および第1～4章は研究ノートとしての性格をもち、第5～9章は資料としての性格が強い。いずれも来年度の最終報告に向けたステップとして執筆されたものである。今年度の成果を踏まえ、2007年度はさらに議論を深めていきたい。

研究会の問題意識については序章をご覧いただきたいが、近年アフリカで武力紛争が収束傾向に転じたなか、「紛争後」に何が問題になっているのか、その現代史的な意味は何かというのが、私の最も基本的な問題意識であった。研究会には、社会科学の手法を用いてアフリカに関わってきた地域研究者と、国際政治学や国際法学の立場から平和構築に関わる問題を扱ってきた専門家に参加をお願いした。「紛争後のアフリカ」について議論を深めるためには、専門の異なる研究者の間で遠慮のない意見交換をすることが必要と考えたためである。研究会に参加いただいた委員の皆さんに改めて感謝申し上げるとともに、残る1年も忌憚のない意見交換をお願いしたい。また、講師としてお話しいただいた栗本英世氏（大阪大学大学院人間科学研究科）と、オブザーバーとして研究会に参加して下さった児玉由佳、高根務、津田みわ、原島梓、牧野久美子、望月克哉、吉田栄一の各氏にも感謝したい。

2007年3月

武内進一

目次

まえがき

目次

執筆者紹介

序章 研究会の射程と問題意識

—紛争から平和への過程と国際社会— 1

武内 進一

はじめに

1. 共同研究の射程—「紛争後」とは
2. 紛争後のアフリカ
3. 国際社会の関与
4. 最終報告に向けて

第1章 モザンビーク紛争終結後の平和構築の課題

—地域社会における対立の深化— 35

船田クラーセン さやか

はじめに

1. モザンビーク武力紛争と紛争終結後の平和構築
2. モザンビーク北部ニアサ州マウア郡における紛争中・紛争終結後

終わりに

第2章 リベリアにおける平和構築と DDR 69

山根 達郎

はじめに

1. 1990年代のリベリア内戦と平和構築
2. 2000年以降のリベリア内戦と平和構築（2006年まで）

おわりに

第3章 ウガンダ 1986、南アフリカ 1994

—紛争後の包括的政治体制の比較分析— 87

峯 陽一

1. 舞台設定の妥当性
2. 無党制と権力分有
3. 対比—エスニシティの可視性と不可視性
4. 考察

【Appendix】死者だけでなく、生者とも和解する

マムード・マムダニからムセヴェニ大統領への公開書簡

(2005年12月4日)

第4章 スーダンにおける「紛争後」平和構築

—一つの「国家」、二つの「紛争」、多様な「課題」— 107

篠田 英朗

1. 南北間の紛争
 2. ダルフール紛争
- おわりに

第5章 コートディヴォワール内戦における和平合意

(資料) 123

佐藤 章

はじめに

1. 和平プロセスの停滞が意味するもの
2. 訳出にあたっての注記
3. 合意文書ごとの解題

資料1 アクラ I 合意

資料2 ロメ合意

- 資料3 リナ・マルクーシ合意
- 資料4 リナ・マルクーシ合意 付録
- 資料5 クレベール声明
- 資料6 アクラⅡ合意
- 資料7 アクラⅢ合意
- 資料8 プレトリアⅠ合意
- 資料9 プレトリアⅡ合意

第6章 シエラレオネ地方自治法・・・・・・・・・・・・・・・・ 181

落合 雄彦

- はじめに
- 地方自治法

第7章 紛争後のアフリカ社会における国際的な刑事裁判所の
役割と課題・・・・・・・・・・・・・・・・ 225

望月 康恵

- はじめに
- ルワンダ国際刑事裁判所関連年表
- ルワンダ国際刑事裁判所規程（抜粋）
- 手続および証拠規則 修正
- シエラレオネ特別法廷関連年表
- シエラレオネ特別法廷規程（抜粋）

第8章 内戦後ルワンダの裁判と国民和解に関する
文献紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ 261

武内 進一

- はじめに
- 文献紹介

第9章 コンゴ民主共和国の内戦以降の過程に関する

文献紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 285

武内 進一

はじめに

文献紹介

執筆者紹介

(執筆順)

武内 進一 (たけうち・しんいち) まえがき・序章・第8、9章担当

アジア経済研究所 地域研究センター アフリカ研究グループ長

船田 クラーセン さやか (ふなだくらーせん・さやか) 第1章担当

東京外国語大学 外国語学部 講師

山根 達郎 (やまね・たつお) 第2章担当

広島大学大学院 国際協力研究科 連携融合事業 研究員

峯 陽一 (みね・よういち) 第3章担当

大阪大学大学院 人間科学研究科 助教授

篠田 英朗 (しのだ・ひであき) 第4章担当

広島大学 平和科学センター 助教授

佐藤 章 (さとう・あきら) 第5章担当

アジア経済研究所 地域研究センター アフリカ研究グループ

落合 雄彦 (おちあい・たけひこ) 第6章担当

龍谷大学 法学部 教授

望月 康恵 (もちづき・やすえ) 第7章担当

関西学院大学 法学部 助教授